

# 病害虫発生予察特殊報第2号

平成17年6月10日  
三重県病害虫防除所

本県において、農作物に初めてアワダチソウグンバイの発生が確認されたので特殊報として発表します。

- 1 病害虫名 : アワダチソウグンバイ  
学名 : *Corythucha marmorata* (Uhler)
- 2 発生確認植物名 : サツマイモ (ヒルガオ科)、ヒマワリ (キク科)
- 3 発生確認地域 : 松阪市

## 4 発生経過

平成17年5月18日に松阪市において露地のサツマイモと温室のヒマワリからアワダチソウグンバイが採取されました。

このグンバイは北米からの侵入種であり、平成12年に兵庫県で侵入が確認され、その後、大阪府、奈良県、滋賀県などのキク科雑草や作物で発生が確認されています。三重県では、平成15年に伊賀市で、平成16年には津市内においてセイタカアワダチソウや庭のヒマワリで発生が確認されていたとの情報もあり、既に県内に広く分布していると考えられます。

## 5 生態

成虫の体長は約3mmで軍配に似た形状をしています。前翅に4本の褐色横紋があり、胸部周縁部と前翅周縁部に小棘が列状にあることから、他のグンバイムシ類と区別できます。幼虫は小豆色～黒褐色の紡錘形で、カメムシ類幼虫に似ており、葉裏に生息しています。

寄生植物は主にセイタカアワダチソウと考えられ、4月中旬頃からセイタカアワダチソウで第1世代幼虫が発生し、5月下旬頃から第1世代成虫が農作物に飛来して加害します。

農作物では、県外においてキク、ヒマワリなどのキク科作物やヒルガオ科のサツマイモなどへの寄生が確認されています。

## 6 被害

成虫、幼虫の吸汁により葉表に白いかすり状の脱色斑点が見られます。また、葉裏は黒い粘液状の排泄物で汚れています。被害が甚だしい時には葉全体が白化し枯死に至る場合もあります。

## 7 防除対策

圃場周辺のセイタカアワダチソウなどをよく観察し、幼虫の発生が見られたら速やかに除草します。また、農作物への飛来開始以降の除草は、逆に圃場内に虫を追い込む可能性があるため注意が必要です。

## 8 アワダチソウグンバイ



成虫



幼虫



ヒマワリの被害葉